

みんな

よくなれ

令和五年九月十三日発行

29回生通信
第22号

附属の王者たち

慶応高校が夏の甲子園を制しました。
一〇七年ぶり二回目の優勝に甲子園だけでなく、全国が沸きました。優勝はおめでたいことですが、慶応の応援は、盛り上がりすぎだと批判もされました。慶応の応援は三塁側アルプススタンドに限らず、甲子園全体をつむむほどでした。得点するたびに、肩を組んで左右に揺れながら大音声で応援歌「若き血」を歌います。その歌声は、守備についている仙台育英の選手同士の声をかき消しました。

「若き血」については、『みんなよくなれ』の17号で、校歌よりも有名な応援歌として紹介しました。慶応の学生は「若き血」によって団結するのですが、その様子を私たちは甲子園で見ることができました。「若き血」の歌詞は一番だけです。それをリズムを変えて二番があるかのように歌ったりします。その歌詞の最後は、「陸の王者慶応」です。元々は、東京六大学野球の応援に作られました。六大学の王者であるという意味で、「六(りく)の王者」という歌詞でした。それが「陸の王者」に変わりました。水泳の大学選手権では「水の王者」と替えて歌われます。

29回生の中にも慶応大学に進学する人がいると思います。入学式では、大学の応援団が塾歌(慶応の校歌)とともに「若き血」を紹介します。そして、新入生みんなで歌います。六大学野球の聖地である神宮球場でも、ラグビーの聖地秩父宮ラグビー場でも、甲子園と同じように「若き血」を歌うことになりました。

慶応高校の応援団には、高校関係者のほかに、大学関係者が多数いました。慶応大学は毎年七千人以上の卒業生を輩出します。慶応高校と慶応大学は校歌も応援歌も同じです。そのうえチアリーダーのコスチュームも同じです。「陸の王者」と謳っているが、野球でもラグビーでも慶応は王者から遠ざかっていました。大学駅伝として有名な箱根駅伝には、三十年近くも出場できていません。慶応高校の優勝は、「陸の王者」になれなかった慶応が久しぶりに王者になった瞬間だったのです。応援団が盛り上がるはずですが、

さて、今号の『みんなよくなれ』では、附属の王者たちを紹介します。夏休みを終えてすべての部活動は、29回生が中心となって活動するようになりました。すぐに結果に結びつかなくても、慶応が一〇七年ぶりに王者になったように、王者の高みを目指す各クラブの主将・部長に活動の様子を紹介してもらおうと思います。



前期球技大会

七月十三日(木)、十四日(金)の両日、前期球技大会が行われ、バレー・バドミントン・ソフトボールの三種目で競い合いました。試合の結果は、さすが三年生といえるもので、バドミントンとソフトボールについては、三年生が一位から三位を独占しました。バレーでは、一位と二位を二年生が勝ち取り、存在感を示したと言えそうです。優勝と準優勝のチームを紹介します。

バレー優勝 二年四組

We are チャンピオン

私たちのチームは全員がバレー部に所属していて、目指すは優勝という感じで球技大会に挑みました。主に小林と私がレシーブ、田路、古川、木山はアタッカー、山本はセッターというポジションにつきそれぞれの役割を全うすることができたと思います。特に決勝戦の前は六人みんながとても緊張していて、自我が失われそうになっていましたが、いざ始まるとそれが輝いたプレーをすることができました。優勝が決まった時に、四組のみんなと一緒に喜べたのはとてもうれしかったです。周りで見ていたクラスメイトもたくさん応援をしてくれて、すごく力になりました。すべてひっくるめて最高の思い出になりました。



メンバー紹介(五十音順・敬称略)

- 木山 翼 小林 衣織 進藤 結以 田路 悠華
- 古川 桜羽 山本 ひな

バレー準優勝 二年三組

バレー準優勝!!

三組が準優勝できたのは、決勝戦でサーブをほとんど入れるといった全員の集中力と、励まし合う仲の良さがあつたからだだと思います。また、南はスパイクを決め切る力、前河は予選時のスパイクと正確なトス、藤井は高さを生かしたブロック、福本はムードメーカーとしてチームの雰囲気上げ、廣島はプロッターサーブで点を取り、早川は味方のカバー、大村は全員をまとめる監督と一人ひとりの武器を生かしたからこそ準優勝です。

僕は、この準優勝には優勝以上のものがあると思います。そして、本当に楽しい球技大会でした。三組としての球技大会は後期にあと一回あるので、そこでも入賞できるように頑張りたいと思います。

メンバー紹介(五十音順・敬称略)

- 大村 泰智 西山 晟叶 早川 静香 廣島 唯楓
- 福本 七海 藤井 悠成 前河 俊祐 南 勇希



女子剣道部近畿大会報告

七月十六日(日)に、高校女子剣道団体戦の近畿大会が行われました。会場は、奈良県橿原市のジェイテクトアリーナ奈良でした。近畿大会に先だつ七月十三日(木)には、全校集会での壮行会も行われました。部員の感想と佐見津先生のお言葉を掲載します。

全員で頑張った

近畿大会

私たちのために壮行会を開いてくださりありがとうございました。全校生の前で先輩が近畿大会に向けての抱負を述べたのを聞いて、より一層気が引き締まりました。

近畿大会の前日に奈良に行き、稽古をしました。他校の稽古を見て、刺激を受けました。そしてその後、宿泊先のホテルに到着しました。そこでは、普段はなかなかじっくり話すことができない先輩と話すことができてとても楽しい思い出になりました。

そして、近畿大会当日。会場のジェイテクトアリーナ奈良に到着し、暑い中で開場を待ちました。近畿大会独特の雰囲気を感じ、緊張しました。初戦の耐久高校(和歌山県準優勝校)との試合では全員が緊張して体が思うように動かず、反省すべきところが多かったです。次の天王寺高校(大阪府第五位校)との試合では試合前に全員で話したおかげもあり、初戦の反省を生かした試合ができました。来年も団体・個人共にこの舞台に戻ってこられるように新チーム全員で一致団結して頑張ります。

激励のことば

剣道部師範 佐見津 和彦 先生
このすばらしい学年通信に、寄稿させていただき、心から感謝いたします。

部活動指導員として、29回生が入学と同時に着任しました。部員たちは、大変気持ちよく私を迎えてくれ、楽しくも、しっかりと稽古ができています。

通学するだけで価値のある学校生活の中で、勉強、習い事、手伝い等を優先させた中で剣道部活動を続けることは、すばらしい一言に尽きます。

日頃より、強く求めること。自主をしっかり考えること。自主の基本は自己決定であり、結果があり、その先には責任が伴う。勉強も部活動も含め、生活全般の中で意識していくことが大切であると話しています。

その通り実践しながら、この県総体では、男子がベスト16、女子がベスト8(近畿大会出場)とすばらしい結果となりました。本当にすばらしい。おめでとう。教わる者が強く求めれば、教える者はそれに応えます。まだまだ強く求めてもらいたい。いくらでも応えていきます。さらに高みを目指すかどうか、全て自己決定です。何事も、しっかりと積み上げて行きましようね。



防具をまとっての壮行会 7/13



女子団体 第61回 近畿高等学校剣道大会出場 祝 県立大学附属高等学校 村上心彩 水田菜月 日野成美 岸本結月 坂本みゆ 春國 凜

近畿大会出場を祝う横断幕 於 J R 相生駅南側

剣道部男子

- 部員 ◎増田類 ○北尾陽希 福田祐真
 浦川凜菜 駿河舞 マネージャー

剣道部サイコー!

主将 一組 増田 類 さん

僕たち剣道部は外部指導員の佐見津先生、顧問の野口先生、上田先生の指導の下、日々稽古を頑張っています。日ごろの稽古では、僕たちの目標である近畿大会出場を目指して、全員が仲良く協力しつつも互いに競い、高め合っています。前回の大会では、あともうちょよつとで近畿大会というところで負けてしまっ、とても悔しい思いをしました。その悔しさをバネにこれから頑張っていくので応援よろしくお願いします。



※各記号について

◎ 主将

○ 副主将

マネージャー

剣道部女子

- 部員 ◎日野成美 ○坂本みゆ 春國凜
 浦川凜菜 駿河舞

私たち剣道部

主将 五組 日野 成美 さん

私たちは互いに声をかけ協力しながら、先生方のご指導のもと日々稽古に励んでいます。今年のチームの目標は近畿大会に出場することです。そのためにチームワークを作ること、そして個人で勝つ力をつけることを意識して毎日頑張ります。先輩方が引退されて、自分たちだけでチームを作ることには難しいと感じることもありますが、選手、マネージャー全員が一丸となって悔いの残らない一年にしたいです。応援よろしくお願いします。



硬式野球部

- 部員 ◎前河俊祐 ○勝谷元智 江見聡真
 明石優衣

感動を与えられるチームに

主将 三組 前河 俊祐 さん

こんにちは。野球部です。野球部は全員の仲が良く、楽しい雰囲気の中で活動しています。僕たちは、全員野球というスローガンで野球をしています。名前の通り、誰一人として欠けず、全員で力を合わせて戦うという意味です。まずは公式戦での一勝ということを目指して日々努力しています。応援してください。感謝の気持ちを持ち、試合で勝つなどといったさまざまな形で恩返しをし、感動を与えられるようなチームになります。



サッカー部

- 部員 ◎松井一真 ○植田賢斗 大北莉久 構琉偉
 高石弘喜 竹内信悟 福本七海 藤井悠成
 安川弥来 山田詩織 和田望来 和宮地娃衣

日々精進

主将 二組 松井 一真さん

私たちサッカー部は、少し遅めの三年生からのバトンタッチで新たなスタートを切りました。私たちは以前からリーグ戦で二部になること、選手権で決勝ラウンドに行き、まずは一勝することを目指して練習しています。そのために、練習では先生に言われるままにするのではなく、選手自ら気づきお互いに高め合える存在でありたいと思います。目標を達成するためにはまだまだ成長しなければいけないため、日々精進していきます。



水泳部

- 部員 ◎藤井大和 ○川江隼斗 加藤信
 官野熙仁 矢村悠翔 瀧本千聡

活動紹介

主将 五組 藤井 大和 さん

僕たちは、二年生男子五人、女子一人、一年生男子一人、マネージャー三人の計10人で活動しています。夏には学校のプールで、秋から春にかけては他の施設のプールを借りて水中での練習をするか、学校で陸上練習をしています。ですので、実際に部活動に来る人数は少ないですが、それぞれの目標に向けてひたむきに努力しています。



卓球部

- 部員 ◎山本夏蓮 ○藤田夏穂 菅原瑞来
 松本心 米本春樹

新チームになって

主将 一組 山本 夏蓮 さん

私たち卓球部は二年生六人、一年生六人で活動しています。顧問の田淵先生、井上先生、春名先生の指導のもと県大会出場を目標に、毎日練習に励んでいます。卓球場の夏はとても暑く練習は大変ですが、一球一球を大切に打つことを心がけています。日々の練習では、先輩後輩関係なく、お互いの技術向上のためにチーム一丸となって頑張っています。次の大会で自己ベストを更新できるように、さらに練習に精を出していこうと思います！



テニス部女子

- 部員 ◎明石真美
 テニス楽しいよ!

主将 一組 明石 真美 さん

29 回生は一人ですが、女子六人男子五人の後輩と活動しています。今年入部者がゼロだと廃部&サーブ練習しかできない危機感だったので、大勢で練習できることに毎日喜びを感じています。最初の頃は、一人か、ちよつとさみしいなと思っていましたが、一年経つともう慣れました。案外、何とかなるものですし、一人で生きていく力がつきます。残り一年、入部したときの「楽しむ」という気持ちを忘れずに、一回くらは試合で勝てるよう頑張ります。



バスケットボール部男子

- 部員 ◎黒川颯仁 ○北川愛琉 ○中島輝

感謝を大切に

主将 二組 黒川 颯仁 さん

僕たち男子バスケットボール部は、二年生三人、一年生十二人、マネージャー三人の計18人で日々練習に励んでいます。去年に比べて人数が多くて、元気のあるチームです。初心者の方も入部して、みんなで頑張っています。チームの目標としては、西播大会でリーグ昇格と県大会出場を目指して、チーム全員で頑張ります。また、バスケットボールができる環境に感謝して練習しています。



バスケットボール部女子

- 部員 ◎山本稀央 ○藤本菜央 駒田七咲 牧結莉音
 金治莉瑠

リーグ昇格を目指して

主将 五組 山本 稀央 さん

女子バスケットボール部では、「Cリーグ昇格」を目標に日々練習に励んでいます。そのためには、夏の西播大会でリーグ内で一位または二位になる必要があるため、夏休みの練習は特に力を入れています。また、現在開催中のリーグ戦では、自分たちよりも上のリーグのチームとも対戦でき、チームの成長に繋がっています。一年生を含めて部員一同、目標達成のために全力で挑むので応援よろしくお願いします。

